



岐阜中央

題字/前期生徒会長 大熊梨花 2020年8月4日発行 vol.30

Contents

1p.....PTA会長・学校長あいさつ

2-3p.....教職員紹介

4p.....前期生徒会役員紹介

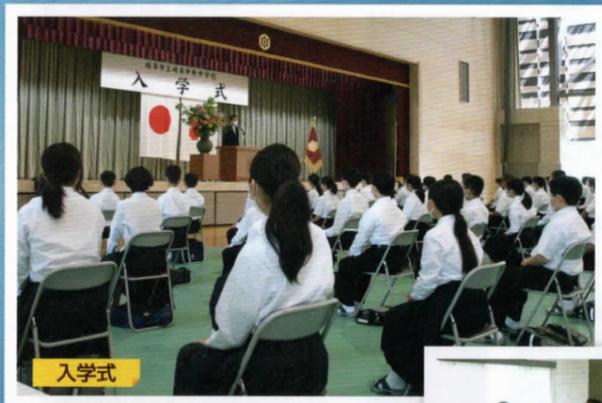
年特・地元を知って大きくなるう

PTAによる消毒作業ボランティア

先生コラム 堀 貴美先生

編集後記

岐阜市立岐阜中央中学校 P T A 広報 生徒数/308名 発行/岐阜中央中PTA 編集/広報委員会



入学式



学級開き



始業式



組織決め



朝の様子



前期生徒会役員紹介

新しい岐阜中央中を創り、充実した生活へ

生徒会長/3年・大熊 梨花

仲間とはどんな存在か。高め合う存在、励まし合う存在、時にはぶつかり合う存在。これが仲間だと思います。私は仲間と共に楽しく充実した生活を前期、創っていきます。

コロナの影響により、やれる事が限られ、行事がなくなってしまいました。そこで、私は、やれる範囲で楽しい事をしたいと思っています。その企画や日常での「良いこと見つけ」などを通して仲間の大切さを感じてもらい、よりよい岐阜中央中学校を創りたいです。また、一瞬一瞬を全校で楽しみ、充実した生活を創っていきます。

三本柱

あいさつ 掃除 合唱 + 学習 ボランティア

- 副会長/3年・木之下 唯菜
全員が心を1つにして活動できる学校をつくりたいです。
- 副会長/2年・桑坪 麗永
時間への意識を高め、楽しいと思える学校生活を!
- 総務/3年・吉田 光太郎
全員が笑顔で過ごせる学校を目指します。
- 総務/3年・平井 麻緒
公約の「実践躬行」を忘れず、動いていきます。
- 総務/2年・小野 琥太郎
自分から積極的に動き、全校に挨拶を広げていく。
- 健康委員長/3年・西村 好平
全校生徒が手洗い消毒を当たり前出来る学校にします。
- 給食委員長/3年・村瀬 沙綺
給食時の衛生面に気を配り、残食0に努めます。
- 報道委員長/3年・井原 芳志乃
誰もが楽しめる放送づくりをしていきます。
- 図書委員長/3年・永池 実礼
全校生徒が興味をもてる図書館作りをします。
- 環境委員長/3年・田中 陽也
全校生徒の環境への意識を高める。
- 創造委員長/3年・林 陽夏穂
良いこと見つけを通して、互いを大切にする学校を創る。
- 生活向上委員長/3年・鷲見 莉璃華
呼びかけをし、規律のある暮らしにします。

年間特集

地元を知って大きくなるう

～未来へ 司の町の新庁舎 その1

2021年春に、岐阜市役所の新庁舎が岐阜市司町に完成予定です。岐阜中央中学校に通う生徒の皆さんは、登下校の最中や中学校からも建設途中の新庁舎を見ていることでしょう。

岐阜市役所の新庁舎は現在の市役所庁舎が昭和41年(1966年)に建設され、半世紀が経過し、老朽化などが問題となってきました。そこで、岐阜大学医学部跡地(岐阜市司町)への移転新築が平成26年(2014

年)の市議会で決定されました。すでにたくさんの市民の皆さんに利用されているぎふメディアコスモス(岐阜市立中央図書館)の南に建設され、利便性も図られています。

今回は平成30年から建設が始まった新庁舎の移り変わりを確認してみましょう。何気なく見ている風景でも、1年ごとに大きく変わっていることがよくわかります。

※今回の紙面を作成するにあたり、岐阜市役所行政部新庁舎建設課には写真使用許可等をいただきました。お世話になりました。



▲平成30年6月の建設現場 基礎工事を行うための掘削が行われています。

▲令和元年6月の建設現場 5階床までの躯体(建物の構造を支える骨組み)の施工が完了しました。

▲令和2年6月の建設現場 階層も高くなってきています。

▲完成イメージ 新庁舎開庁まで1年を切りました。楽しみです。

消毒ボランティアについて



新型コロナウイルス感染症対策の一環として、お忙しい先生方の負担を少しでも減らすためのお手伝いを、との思いから、PTA本部役員・保護者ボランティアによるアルコール消毒作業を、放課後の校舎内で週に一回行っています。

学校再開後の6月24日と7月1日には、教室の机や椅子の消毒と、手洗い場の清掃を行いました。

通常とは異なる授業対応、部活動の指導などに加え、生徒たちが安心して通える環境を整えるため、毎日教室や校舎内の消毒をして下さっている先生方、いつも本当にありがとうございます。

PTA会長 牧野 浩之

今年度PTA会長を務めさせていただくことになりました牧野です。よろしくお願いたします。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動がかなり制限されていますが、生徒の命・安心安全な学校生活を過ごせることを最優先に考え活動してまいります。PTAの運営は、会員みなさまのご協力なしでは進められません。皆様のご支援ご協力、積極的な参加をよろしくお願いいたします。



校長 上松 英隆先生

6月1日より学校が再開しました。入学式・始業式では、コロナ社会を生き抜くために、学校で生活する上での「新しい生活様式」や「感染防止対策」を全校生徒・教職員で確認し、保護者や地域の方の理解や支援を受けながら、日々変化する状況に対応しているところです。学校行事や部活動の大会等がなくなり、夏休みが短くなる等、昨年度までとは、大きく変わる年となります。しかし、生徒に大切にしたいと考えている次の二つの生き方は、このような時であっても変わりません。



一つ目は、「目標」をもち、自分の可能性を信じて「挑戦し続ける」ことです。挑戦し続けることで、何かが変わります。二つ目は、仲間のよいところを見つけ、自分に生かすことです。仲間の言動のよいところに気付くと仲間の心の「よさ」に気付き、自分の心が温かくなります。心が温かくなると、仲間への思いやりが育まれます。すると、毎日の生活がさらに楽しくなります。

先生コラム



私が大切にしていること

堀 貴美先生

薬剤師、幼稚園の先生、和菓子職人、アナウンサー、雑誌記者...中学生の頃の私には、たくさんの夢がありました。当時、英語が大の苦手だった私が、まさか今の職業に就いているとは、人生本当に何が起るのかわかりません。

中学1年生の頃の私は、「なかなか英単語が覚えられない」「英文の書き方がわからない」と日々悩んでいました。そこで、自分にルールを設けました。「基礎英語(ラジオ講座)を聞くこと」そして、「朝食までの15分~30分間、英単語を書き続けること」ほぼ毎日、この2つを取り組み続けた1年後、目の前の霧が晴れるように、英単語の覚え方や英文の構造を自分なりにつかむことができたのです。それからは、英語がどんどんわかるようになる自分がとても嬉しくて、知らず知らずのうちに英語が好きになっていました。

「人生ムダなことは1つも無い」「よいと思ったことはまずやってみる」英語教師になった今も、大切にしています。

編集後記

2020年度最初の広報紙を無事に発行することができました。今年度は、夏号と卒業記念号という2回の発行になります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

